

# あくせす news

第 181 号  
2017年7月14日  
発行者  
呉市医師会病院  
地域医療福祉連携室  
あくせす



夏めく菅田庭園

一雨ごとに緑深まり、雲間から降り注ぐ光が眩しい季節となりました。向日葵や朝顔の花も咲き始め、夏の訪れを感じる今日この頃です。さて、先生方にはいつも **あくせす** をご利用いただき、誠にありがとうございます。**あくせす**では土曜日も8時30分から17時15分まで予約受付を行っております。引き続き一層のご利用・ご紹介をよろしくお願いいたします。

## 外来医師 紹介

外来日は水曜日の午前中です



こうち れいこ  
河内 礼子 (非常勤)

- ★専門分野：呼吸器内科
- ★取得資格：日本内科学会認定医
- ★趣味：DIY

4月より非常勤内科医として勤務させて頂いております河内礼子と申します。杏林大学医学部を卒業後、夫の故郷である広島に参りました。広島大学病院、呉医療センター、広島赤十字・原爆病院、マツダ病院などで、先輩にも後輩にもびしびし指導して頂きながら呼吸器内科を中心に内科診療に携わってきました。

診療では特に感染症に興味があり、上気道炎症状があった際自身の痰をグラム染色しモラキセラを疑う菌を多数認めた時は謎の喜びに包まれました(気管支炎程度の症状でしたので抗菌薬は使用せず自然軽快しました)。医師を志したきっかけは高齢者の方と医療で関わっていきたく思ったことで、少しでも呉地区の皆さんのお役に立てるよう、患者さんごとの医療対応を提案していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

## New face 紹介

リハビリテーション科

6月より勤務させて頂いております、理学療法士の富永です。以前は宮崎県日南市の整形外科クリニックに勤務していました。環境が変わったばかりでまだ慣れない事が多く、迷惑をかけてしまう事が多いのですが、リハビリテーション科のスタッフをはじめ、他部署の方々に支えていただきながら、毎日楽しく仕事をする事が出来ています。

早く業務に慣れ、患者さんやご家族に満足していただける結果が出せるよう、また、患者さん一人一人の状態に合わせた理学療法を提供出来るよう、日々精進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



理学療法士  
とみなが きょうへい  
富永 恭平

## Zoom up

七夕交流会

7月7日(金)に院内保育所ひだまりの園児とデイケアあさひの利用者さんによる七夕交流会が開催されました。

かわいらしい園児の歌と踊りに利用者さんたちも目を細め、一緒に歌を口ずさむなど、楽しい七夕を過ごすことができました。



★6月1日～6月30日★ ※届出日数(地域包括ケア病棟、障害者病棟等を除く)

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数※	紹介外来患者数	医療相談患者数
101.8人	49.1%	15.3日	89人	86人



◆6月28日(水)◆

# 医療安全対策講習会・感染対策講習会《報告》

## ～医療安全対策講習会～

- 『平成28年度インシデントレポート報告』
- 『～転倒・転落について考えよう～』

講師：風呂本 理恵 副看護部長

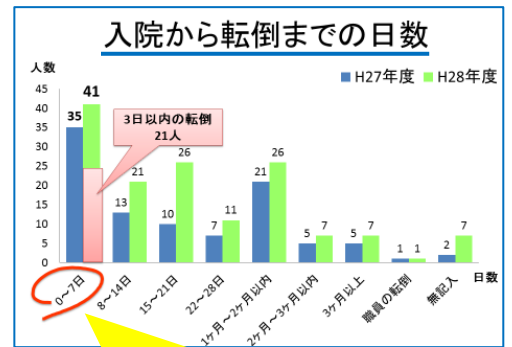
はじめに平成28年度のインシデントレポートについてインシデントの種類、発生場所、発生時間、報告者（職種や部署）別に分析した報告がありました。その結果から医療安全対策には、病院の全職員でリスク管理に取り組む必要性を再認識しました。

次に最も報告件数が多かった『転倒・転落』についての報告がありました。転倒は入院後3日目以内に特に多いことや、職員が制作した再現DVDを見ることにより、転倒転落の危険回避についてわかりやすい講習会となりました。講習後のアンケートでは「転倒・



転落が発生する時の状況がよくわかった。」「患者さんに合わせた環境整備が重要である。」等の感想がありました。

職員一人一人が日頃から医療安全に対する意識を持ち、危険要因を敏感に察知できるよう今後も努めてまいります。



入院から3日以内の転倒が最も多い

### 転倒後に行った対応策

#### 環境面

- ・ 介助バーの使用
- ・ 滑り止めマットの使用
- ・ 転倒むしの使用
- ・ センサーマットの使用
- ・ 畳部屋へ変更
- ・ 衝撃吸収マットの使用
- ・ 履物の変更

#### スタッフの行動面

- ・ 消灯前に排泄を促す
- ・ 排泄パターンを把握しトイレ誘導を行う
- ・ 薬剤(眠剤)の調整
- ・ 帰宅願望がある人は、家族へ協力依頼

患者さんそれぞれに合わせた対応が必要

## ～感染対策講習会～

- 『院内環境ラウンド報告』 講師：濱上 のぞみ 副師長



はじめに濱上副師長から感染対策委員による院内環境ラウンドの報告として、改善された点や新たなチェックポイントについて画像を示しながらわかりやすい解説がありました。

毎週予告なく各部署を回るこのラウンドは、現場にとって普段は気付かない所に鋭い視線が注がれ、緊張感のあるラウンドとなっています。ラウンドでは気付いた箇所の写真をとり、早期改善を促します。感染対策委員によって指摘され初めて気付くことが多く、視点を変え物事を見るということの重要性を改めて感じました。

- 『最近流行の感染症』 講師：森光 毅 感染管理認定看護師



今回は最近流行している感染症についていくつかの疾患の紹介がありました。その中から、ダニ媒介感染症(SFTS)・レジオネラ症・アニサキス症・蚊媒介感染症に焦点を当て、その予防法と対処法についてより詳しい説明がありました。

それぞれの感染症の特徴を知ることにより、迅速な対応や適確な予防をすることが出来ることを学びました。今後もこの知識を生かして院内感染対策に努めてまいります。

きれいなようで汚い・・・



意外なところにホコリを発見！

### アニサキス症の予防

- ・ 海産魚介類の生食を避ける
- ・ 加熱後に喫食すること(60℃で1分以上)
- ・ 冷凍処理(-20℃、24時間以上)によりアニサキス幼虫は感染性を失う。
- ・ 加熱や冷凍以外の方法として、新鮮なうちに魚介類の内臓を摘出する(内臓に寄生する幼虫が漁獲後に筋肉へ移行することもあるらしい)
- ・ なお、醤油、わさび、酢がアニサキス症の予防に有効ではないかと期待されてきた。しかし料理で使う程度の量や濃度、処理の時間では虫体は死なない。

予防のポイントを押さえる事が大切です。

呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 **あくせす**

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 中塚 博文 室長 中間 千穂  
FAX (0823) 32-7507 MSW 森下 香織 MSW 菅原 淳子

事務 中野 浩美 事務 森本 美穂

